

基本理念

スポーツによる活力の創出



◆計画の体系

基本方針1 生涯スポーツ社会の実現

(1) 誰もが参加できるスポーツの機会創出

- 子どものスポーツ推進
- 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進
- 高齢者のスポーツ推進
- 障がい者スポーツの推進
- スポーツイベント・教室の充実開催
- 暮らしの中での健康づくり

(2) スポーツを支える環境づくり

- スポーツを支える組織(スポーツ推進委員・スポーツ振興会・スポーツ少年団・スポーツボランティア等)の育成・支援
- 市民から愛される指導者の育成
- スポーツ施設の整備・改修、施設利用環境の充実
- 気軽にスポーツに取り組める情報を発信
- 子どもを取り巻くスポーツ環境の変化への対応
- 医科学など関連分野との連携

基本方針2 競技力の向上、人材育成の推進

(1) 選手・指導者の育成

- ジュニアを主体とした競技力向上施策の推進
- 指導者の育成、資質向上の取り組み
- 障がい者の競技スポーツ推進

基本方針3 スポーツを活かしたまちづくり

(1) スポーツを通じた交流の推進

- 文化・スポーツコミッションと一体となった大会・合宿等の誘致

(2) スポーツの魅力を活かした愛着の醸成と賑わいづくり

- 地元プロスポーツチームとの連携
- スポーツを活用した賑わいづくり

◆計画の基本的方向

市民一人一人が、健康の保持・増進、ひいては健康寿命の延伸につながる豊かな生活を営むことができるよう、ライフステージに応じたスポーツに親しめる機会の提供に取り組み、生涯スポーツ社会の実現とスポーツの魅力を活かしたまちの活性化を目指します。

◆総合指標(到達目標)

指標名	現状値	中間目標 (令和8年度)	最終目標 (令和12年度)
週1日以上スポーツをする市民(成人)の割合	50.8% (令和4年度)	60.4% (令和8年度)	70.0% (令和12年度)
スポーツ環境への満足度	42.5% (令和4年度)	51.3% (令和8年度)	60.0% (令和12年度)

基本方針1 生涯スポーツ社会の実現

(1) 誰もが参加できるスポーツの機会創出

◆ 基本方針の内容

○子どもから高齢者まで障がいの有無にかかわらず、誰もが生涯にわたって、スポーツ・レクリエーションを通じて、健康で豊かな生活を営むことができる取り組みを推進します。
 ○気軽にスポーツに親しみながら体力の向上や運動の習慣化に取り組んでもらえるよう、大会の運営や各種スポーツ教室の開催などに、トップアスリートや関係団体とも連携しながら取り組みます。

◆ 施策指標

指標名	現状値	目標(令和5年度)	目標(令和6年度)	目標(令和7年度)	目標(令和8年度)
I 卒業後も運動やスポーツをしたいと思う児童の割合(小5)	87.0% (令和3年度)	87.3% (令和5年度)	87.7% (令和6年度)	88.1% (令和7年度)	88.5% (令和8年度)
II 卒業後も運動やスポーツをしたいと思う生徒の割合(中2)	83.0% (令和3年度)	83.8% (令和5年度)	84.7% (令和6年度)	85.6% (令和7年度)	86.5% (令和8年度)
III 週1日以上スポーツをする30・40代の市民の割合	44.0% (令和4年度)	46.6% (令和5年度)	49.3% (令和6年度)	51.9% (令和7年度)	54.5% (令和8年度)
IV 週1日以上スポーツをする65歳以上の市民の割合	56.0% (令和4年度)	57.1% (令和5年度)	58.2% (令和6年度)	59.3% (令和7年度)	60.5% (令和8年度)

① 子どものスポーツ推進

○生涯にわたってスポーツに親しみ豊かな生活を実現していくための基礎作りとして、幼児期から、いかに楽しく遊びを通して運動を体験していくかが重要です。
 ○スポーツの体験やきっかけづくり、成果を発揮できる機会の充実など関係団体と連携しながら取り組みます。
 ○子どもたちがさまざまな他者と関わり、その存在と頑張りを認めてくれる環境は重要であり、学校や地域コミュニティや家庭の関わりの中で、気軽にスポーツに親しみながら体力向上、自ら興味や関心を持ち運動の習慣化につながるよう施策を展開します。

◆ 主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
1 子どもスポーツふれあい促進事業	小学生を対象にしたサッカー教室の開催、中学生とその指導者に対して地元プロ選手から指導等を実施してもらい、心身の健全育成と競技力・技術力等の向上を図ります。	I、II	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	スポーツ振興課
2 氷上スポーツ体験学習推進事業	新潟市アイスアリーナで小学生等に氷上スポーツを体験させることで氷上スポーツ愛好者の裾野拡大を図るため、市内小学校等の校外活動時のバス送迎に係る経費と施設利用料金を助成します。	I	実施校数64校	実施校数64校	実施校数64校	実施校数64校	スポーツ振興課
3 少年少女スポーツ大会の開催	児童の育成健全を目的として、昭和40年に始まり、令和5年度で59回を迎えます。大会を通じて心身の健康づくりと相互の親睦、コミュニケーション能力の育成が図られています。 競技:野球・サッカー・バスケットボール・バレーボール	I	エントリーチーム数 野球:60チーム サッカー:70チーム バスケット:120チーム バレー:30チーム	エントリーチーム数 野球:60チーム サッカー:70チーム バスケット:120チーム バレー:30チーム	エントリーチーム数 野球:60チーム サッカー:70チーム バスケット:120チーム バレー:30チーム	エントリーチーム数 野球:60チーム サッカー:70チーム バスケット:120チーム バレー:30チーム	スポーツ振興課
4 氷上スポーツイベント開催事業	新潟市アイスアリーナの愛称を命名する権利を企業等に与えることで、企業名やブランド名等の広告機会を提供し、これにより得られる対価(命名権料)を財源に、氷上スポーツの普及を促進するイベントを開催します。また、全国の選手を中心とした競技会等を開催し、フィギュアスケートの発展と技術レベルの向上を目指します。	I	競技会参加者数 170人	競技会参加者数 180人	競技会参加者数 180人	競技会参加者数 180人	スポーツ振興課
5 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 体験会等推進事業	スポーツの普及振興を目的に、多くの子どもたちからスポーツに親しんでもらうため、気軽に参加できる体験教室等を通じて、子どもやその保護者に身体を動かす楽しさを伝えることにより、スポーツの裾野を広げることを目的に、加盟団体が実施する事業に対して経費の一部を補助します。	I	実施種目 7	実施種目 7	実施種目 10	実施種目 10	(公財)新潟市スポーツ協会
6 体力向上ジャンプアップ事業	全国体力・運動能力、運動習慣等調査の結果や子どもたちの実態から、学校ごとに体力や健康に関する課題を設定し、その解決を目指して指導方法を工夫したり委員会活動等とタイアップしたりして、学校独自の体力向上の取組を行います。	I、II	すべての小・中・中等教育学校等の取組を諸観点で類別し学校別に集約。情報提供。	すべての小・中・中等教育学校等の取組を諸観点で類別し学校別に集約。情報提供。	すべての小・中・中等教育学校等の取組を諸観点で類別し学校別に集約。情報提供。	すべての小・中・中等教育学校等の取組を諸観点で類別し学校別に集約。情報提供。	学校支援課

② 働き盛り・子育て世代のスポーツ推進

○仕事や家事、育児が忙しくなる働き盛り・子育て世代のスポーツ実施率は、他の年代に比べて低い傾向があります。自分に合った健康保持・増進の方法を具体的に知り、日常生活の中でできる取り組みを取り入れ、生活習慣病の予防、生涯を通じた健康保持・増進が重要です。スポーツをする楽しさや運動することの重要性に気付いてもらい、楽しみながら運動を継続できるよう、気軽に参加できるプログラムを充実するとともに、身近な場所で運動・スポーツに取り組める機会を提供します。
 ○また、20～30代の女性のスポーツ実施率は男性に比べて低い傾向があります。生涯にわたって楽しむことができる環境づくり、及び女性のスポーツへの参加促進策の検討に取り組みます。

◆ 主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
7 ウォーキングチャレンジ事業	働き盛り世代の運動習慣定着を図るため、事業所内でチームを組んで参加し、参加者自ら歩数を記録することを通して、歩く機会や歩数の増加にチャレンジします。また、健康づくりのきっかけとなるよう市民を対象としたウォーキングチャレンジを実施します。	III、IV	参加事業所数:190事業所 参加者数(事業所・市民合計):6,000人	参加事業所数:前年度より増加 参加者数(事業所・市民合計):6,350人	参加事業所数:前年度より増加 参加者数(事業所・市民合計):6,700人	参加事業所数:前年度より増加 参加者数(事業所・市民合計):7,000人	健康増進課
再掲 25 スポーツ振興課ホームページの運用(再掲)	スポーツに関する施設、大会・イベント、団体などの情報について、市民への情報提供を行います。	I、II、III、IV	アクセス数700,000件	アクセス数710,000件	アクセス数720,000件	アクセス数730,000件	スポーツ振興課
再掲 26 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 広報活動事業(再掲)	(公財)新潟市スポーツ協会及び協会加盟団体等の取り組みや活動内容について、スポーツの普及・振興ならびに市民から関心や理解を得るために、広報誌の発行やホームページによる情報発信を行います。	I、II、III、IV	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	(公財)新潟市スポーツ協会

③高齢者のスポーツ推進

○本市の健康寿命は、全国同様、男女ともに伸びている一方で、平均寿命と健康寿命には差があることから、健康上の問題で日常生活が制限される「健康でない期間」を短くすることが重要です。
 ○生涯にわたって健康を保持・増進していくために、日常生活で無理なく気軽に身体を動かし楽しみながら取り組める施策を推進します。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
8 シニアはつつついがた総おどり事業	本市の踊り文化を生かして制作した「総おどり体操」について、講習会や指導者養成講座の開催、指導スタッフの派遣、「いがた総おどり」などの各種イベントへの参加を実施します。	Ⅳ	講習会等参加者数 延6,445人	講習会等参加者数 延7,215人	講習会等参加者数 延7,985人	講習会等参加者数 延8,755人	高齢者支援課
9 全国健康福祉祭事業	いがたねんりんピック等により選考した団体・個人が新潟市代表として全国健康福祉祭(ねんりんピック)に参加します。	Ⅳ	派遣人数 60人	派遣人数 67人	派遣人数 74人	派遣人数 81人	高齢者支援課

④障がい者スポーツの推進

○市は、障がいの有無にかかわらず、全ての市民が互いに人格と個性を尊重しあいながら、安心して暮らすことのできる共生社会を目指しています。
 ○障がいの有無にかかわらず、誰でも楽しめる障がい者スポーツの普及・促進を図るとともに、障がいのある方が身近な場所で主体的かつ積極的にスポーツを行うことができるよう、関係団体と連携しながら取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
10 「目指そう、支えようパラリンピアン」障がい者スポーツ推進事業	共生社会の実現、障がい者が主体的かつ積極的にスポーツに取り組むきっかけや競技力の向上及び障がいの理解促進のため、パラリンピアンによる講演会や障がい者スポーツの体験会を開催します。また、障がい者スポーツの普及促進のため、競技用具の貸出事業を実施します。併せて、障がい者スポーツのナショナルチームによる合宿を誘致・支援します。	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	講演会・体験会の参加者数 20人	講演会・体験会の参加者数 25人	講演会・体験会の参加者数 30人	講演会・体験会の参加者数 35人	スポーツ振興課
11 新潟市障がい者大運動会	障がいのある人もない人も一緒にスポーツやレクリエーションを行うことを通じ、障がいのある人の社会参加を促進し、障がいや障がいのある人への理解を深めるため「新潟市障がい者大運動会」を開催します。	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	開催について再検討	未定	未定	未定	障がい福祉課

⑤スポーツイベント・教室の充実開催

○スポーツイベントは、参加者の健康の保持・増進はもとより、市民との交流や地域の活性化にも大きく貢献します。
 ○地域で気軽に参加できるものから、新潟シティマラソンなど全国規模の大会まで、市民のニーズを把握しながら積極的に開催するほか、トップアスリートや関係団体と連携し、これまで参加したことがない人へのきっかけづくりや、スポーツへの興味・関心を高め、スポーツ参画人口を増やすよう取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
再掲 1 子どもスポーツふれあい促進事業(再掲)	小学生を対象にしたサッカー教室の開催、中学生とその指導者に対して地元プロ選手から指導等を実施してもらい、心身の健全育成と競技力・技術力等の向上を図ります。	Ⅰ、Ⅱ	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	スポーツ振興課
12 新潟シティマラソンの開催	フルマラソン、ファンランに加え、年齢や障がいの有無に関わらず参加できる種目、ユニバーサルランを実施することで、市民の健康保持・増進を図ります。また、萬代橋や笹谷小路などの市街地や新潟ならではの水辺を望めるコースとすることで、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	スポーツ振興課
13 早起き野球大会の開催	早起き野球を通して、市民が積極的にスポーツに親しみ、スポーツ振興と相互の親睦を図ることにより、豊かな社会生活に寄与することを目的に開催します。 種目:1部・2部・3部・壮年1部・壮年2部 の計5種目	Ⅲ、Ⅳ	エントリーチーム数 100チーム	エントリーチーム数 100チーム	エントリーチーム数 100チーム	エントリーチーム数 100チーム	スポーツ振興課
14 自転車活用事業	新潟シティライド、新潟ヒルクライムを開催し、自転車を活用しながらスポーツの振興に寄与するとともに、市民の健康保持・増進、交流人口の拡大を図ります。	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	スポーツ振興課
15 (公財)新潟市スポーツ協会補助金	「市民総合体育祭」、「市民サッカー大会」、「市民綱引き大会」、「市民親善ゴルフ大会」、「スポーツ体験フェスタ」を開催し、市民の健康増進、参加者相互の親睦、スポーツの裾野拡大を図ります。	Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ	【体育祭】 開催種目数 春季:25種目 秋季:30種目 【サッカー大会】 エントリーチーム数 60チーム 参加者数 800人 【綱引き大会】 エントリーチーム数 一般の部:15チーム 小学生の部:40チーム	【体育祭】 開催種目数 春季:25種目 秋季:30種目 【サッカー大会】 エントリーチーム数 60チーム 参加者数 800人 【綱引き大会】 エントリーチーム数 一般の部:15チーム 小学生の部:40チーム	【体育祭】 開催種目数 春季:25種目 秋季:35種目 【サッカー大会】 エントリーチーム数 60チーム 参加者数 800人 【綱引き大会】 エントリーチーム数 一般の部:15チーム 小学生の部:50チーム	【体育祭】 開催種目数 春季:25種目 秋季:35種目 【サッカー大会】 エントリーチーム数 60チーム 参加者数 800人 【綱引き大会】 エントリーチーム数 一般の部:15チーム 小学生の部:50チーム	(公財)新潟市スポーツ協会

⑥暮らしの中での健康づくり

○生涯スポーツ社会を実現するためには、スポーツの持つ「健康に良い」という価値を、実践することで高め、それを習慣づけることが大切です。
 ○ウォーキングやジョギング、ランニングをはじめ、通勤や通学など日常の暮らしの中で、自然と体を動かし、健康になれるまちづくりを推進します。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
16 公共交通の強化及び利用促進	過度な自動車利用から公共交通利用への転換を図り、公共交通利用による外出機会の増加を促す施策を展開します。	Ⅲ、Ⅳ	路線バスの利用者数 1,937万人/年	路線バスの利用者数 2,027万人/年	路線バスの利用者数 2,117万人/年	路線バスの利用者数 2,206万人/年	都市交通政策課
17 いがた2kmシェアサイクル	まちなかの回遊性向上や公共交通の補完等を目的に、運営事業者と協働でシェアサイクルを運用します。	Ⅲ、Ⅳ	回転率 0.8回転/日	回転率 1.15回転/日	回転率 1.55回転/日	回転率 1.75回転/日	都市交通政策課

基本方針1 生涯スポーツ社会の実現

(2)スポーツを支える環境づくり

◆基本方針の内容

○スポーツと地域の関わり、スポーツの多様化や少子化による影響など、取り巻く環境の変化に対応しながら、関係者と共にスポーツ環境の充実や指導者の育成など、ハード・ソフト両面から市民のスポーツ活動を支えます。
○医科学など関連分野との連携も踏まえながら、スポーツ実施や健康増進に資する取り組みを推進します。

◆施策指標

指標名	現状値	目標(令和5年度)	目標(令和6年度)	目標(令和7年度)	目標(令和8年度)
I スポーツ施設利用者数	257万人 (令和3年度)	272万人 (令和5年度)	288万人 (令和6年度)	303万人 (令和7年度)	318万人 (令和8年度)
II スポーツに関する情報発信が足りないと感じる市民の割合	40.0% (令和4年度)	38.2% (令和5年度)	36.3% (令和6年度)	34.4% (令和7年度)	32.5% (令和8年度)

①スポーツを支える組織(スポーツ推進委員・スポーツ振興会・スポーツ少年団・スポーツボランティア等)の育成・支援

○市民が気軽にスポーツに親しみ楽しむためには、身近な地域でスポーツに取り組める環境の整備が重要です。スポーツ推進委員やスポーツ振興会、スポーツ少年団等の地域のスポーツ組織は、市民が生涯にわたってスポーツに参加できる基盤となるとともに、地域社会の再生においても重要な意義を持つものと考えられます。
○市民が主体的に参画する地域のスポーツを支える組織及びスポーツボランティア等の育成・支援に取り組み、スポーツを地域に根付かせ、自主的なスポーツ活動を活性化させていくほか、スポーツ活動を支えるスタッフ・ボランティアの必要性や活動内容を市民に周知し、活動機会の拡充に取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
18 スポーツ推進委員の活動推進	スポーツ振興会など地域におけるスポーツ活動の企画・調整役を担い、新潟シティマラソンをはじめとする全市の事業において役員として活動する、スポーツ推進委員(各小学校区に数名が配置されており、令和3年4月現在257名が活動)の資質向上を目的に、各種研修会を開催します。	—	研修会開催数 2回 参加者数 計200人	研修会開催数 2回 参加者数 計200人	研修会開催数 2回 参加者数 計200人	研修会開催数 2回 参加者数 計200人	スポーツ振興課
19 スポーツ振興会の育成・支援	地域での「生涯にわたるスポーツ活動の推進」の要であるスポーツ振興会において、組織の中心的な役割を担うスポーツ推進委員等を対象に、資質向上的的確な能力を身に付けるための研修会を開催するなどスポーツ振興会の育成・支援を行います。	—	研修会開催数 1回 参加者数 160人	研修会開催数 1回 参加者数 160人	研修会開催数 1回 参加者数 160人	研修会開催数 1回 参加者数 160人	スポーツ振興課
20 スポーツボランティアの育成	新潟シティマラソンをはじめ各種スポーツイベントに必要な人材を発掘・養成します。	—	シティマラソン学生・企業・一般公募ボランティア数 600人	シティマラソン学生・企業・一般公募ボランティア数 600人	シティマラソン学生・企業・一般公募ボランティア数 600人	シティマラソン学生・企業・一般公募ボランティア数 600人	スポーツ振興課
21 (公財)新潟市スポーツ協会補助金	スポーツ少年団の普及育成及び活性化を図り、青少年の健全育成に資するため、登録業務や大会等の事業を実施します。	—	登録団数 115団体	登録団数 115団体	登録団数 115団体	登録団数 115団体	(公財)新潟市スポーツ協会

②市民から愛される指導者の養成

○生涯スポーツ社会を実現するためには指導者の育成、資質向上の取り組みが不可欠です。運動をする人の喜びや感動を自分のことのように感じ、心や身体の痛みも感じ取れる感受性を持ち、常に指導内容・方法を工夫・改善する努力を怠らない研究心を備え、市民を愛し市民から愛される指導者を養成します。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
再掲 36 新潟市「スポ柳樹にいがた」指導員養成研修会(再掲)	子ども達がスポーツ・レクリエーション活動を通し、豊かな心を育み、生涯に渡って身体を動かすことの楽しさや喜びを提供できる指導者・支援者としての資質の向上を図ります。	—	参加者数 100人	参加者数 110人	参加者数 120人	参加者数 120人	スポーツ振興課
再掲 37 (公財)新潟市スポーツ協会補助金	スポーツ指導者研修会(再掲) 本市の競技力の向上を図るため、ジュニア強化に携わる指導者や関係者など市民を対象とした講習会を開催します。	—	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	(公財)新潟市スポーツ協会

③スポーツ施設の整備・改修、施設利用環境の充実

○市民にとって身近なスポーツ施設の整備を進めてきた結果、本市の人口当たりの施設数は、政令指定都市の中でも多く、市民の誰もが気軽にスポーツを楽しむことができます。
○一方、これらのスポーツ施設の維持管理に必要な経費が増加しているほか、老朽化が進んでいる施設もあります。民間活力の導入等も踏まえ、本市の拠点性を活かしたスポーツ施設のあり方を検討するとともに、サービス機能を維持しながら、安全・安心に利用していただけるよう、利用環境の充実に取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
22 スポーツ施設管理運営委託費	指定管理者制度により所管するスポーツ施設の管理運営を行います。	I	施設利用者数 2,720,000人	施設利用者数 2,880,000人	施設利用者数 3,030,000人	施設利用者数 3,180,000人	スポーツ振興課
23 スポーツ施設の整備・改修方針の検討	スポーツ施設の維持管理に必要な経費が増大しているほか、昭和39年開催の新潟国体に合わせて整備された施設など老朽化が進んでいる施設もあり、大規模な改修や更新、施設の集約化を計画的に行う必要があることから、スポーツ施設の整備・改修方針の検討に取り組みます。	I	スポーツ施設に関する「未来構想会議」の立ち上げ	「未来構想会議」の提言を踏まえ、施設再編計画を進めていく。	「未来構想会議」の提言を踏まえ、施設再編計画を進めていく。	「未来構想会議」の提言を踏まえ、施設再編計画を進めていく。	スポーツ振興課

④気軽にスポーツに取り組める情報を発信

○市民がスポーツに気軽に取り組むためには、情報を手軽に入手できる環境づくりが不可欠です。
 ○市民が様々なスポーツ活動に参加しやすくなるよう、スポーツ施設の利用やイベント、スポーツ団体の情報などを広報紙やホームページ、SNSなどを通じて発信します。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
24 公共予約システムの運用	市民がいつでも気軽にスポーツ施設を利用できるよう、インターネットによる施設予約システムの充実・運用を図ります。	I、II	システム利用件数 25,800件	システム利用件数 27,300件	システム利用件数 28,700件	システム利用件数 30,200件	スポーツ振興課
25 スポーツ振興課ホームページの運用	スポーツに関する施設、大会・イベント、団体などの情報について、市民への情報提供を行います。	II	アクセス数 700,000件	アクセス数 710,000件	アクセス数 720,000件	アクセス数 730,000件	スポーツ振興課
26 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 広報活動事業	(公財)新潟市スポーツ協会及び協会加盟団体等の取り組みや活動内容について、スポーツの普及・振興ならびに市民から関心や理解を得るために、広報誌の発行やホームページによる情報発信を行います。	II	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	広報誌発行 ホームページ運営	(公財)新潟市スポーツ協会

⑤子どもを取り巻くスポーツ環境の変化への対応

○中学生などの青少年に対する部活動改革を踏まえ、子どもたちが地域において多種多様なスポーツを安全・安心に実施できるような環境の構築に向けて関係団体と連携しながら取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
27 新潟市の中学生のための地域運動・文化活動整備事業	地域クラブ活動の充実に向け、仕組みの整備、運営団体の充実、指導者の配置支援を実施します。	—	運営団体、指導者の整備、依頼。生徒への紹介。モデル団体への支援(9団体27クラブ)	運営団体、指導者の整備、依頼。生徒への紹介。前年度の団体数以上のモデル団体への支援	運営団体、指導者の整備、依頼。生徒への紹介。前年度の団体数以上のモデル団体への支援	運営団体、指導者の整備、依頼。生徒への紹介。前年度の団体数以上のモデル団体への支援	学校支援課
28 学校開放事業	生涯スポーツの振興を図ることを目的として、学校教育に支障のない範囲内で、市立の学校施設(体育館、武道場等)を開放します。	—	164校で実施 (小106・中56・東特支・明鏡高)	164校で実施 (小106・中56・東特支・明鏡高)	164校で実施 (小106・中56・東特支・明鏡高)	164校で実施 (小106・中56・東特支・明鏡高)	地域教育推進課

⑥医科学など関連分野との連携

○子どもから高齢者まで障がいの有無にかかわらず、あらゆる年代、対象が、より安全に安心して、そして効果的にスポーツに取り組むために、医科学などの関連分野と連携し、スポーツを通じた健康増進を推進します。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
29 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 目指せオリンピック！ 医科学サポート事業	にいがたスーパージュニア育成事業(柔道・ボクシング・バドミントン)の実施にあわせて強化現場にスポーツトレーナー等を派遣し、傷害予防やコンディショニング調整、効果的なトレーニング指導を行うことで、選手のスポーツ活動を強化、サポートします。	—	スポーツトレーナー派遣 競技団体数4団体	スポーツトレーナー派遣 競技団体数4団体	実施数見直し	実施数見直し	(公財)新潟市スポーツ協会

基本方針2 競技力の向上、人材育成の推進

(1)選手・指導者の育成

◆基本方針の内容

○新潟から世界へ羽ばたく選手を育成し、世界を目指すスポーツ文化の発信地となるよう、競技力の向上を推進します。
 ○将来の活躍が期待されるジュニア選手の育成・強化や、指導者の育成・資質向上、障がい者の競技スポーツの普及促進を図ります。

◆施策指標

指標名	現状値	目標(令和5年度)	目標(令和6年度)	目標(令和7年度)	目標(令和8年度)
I 市内小中高生への全国大会等出場激励金支給件数	91件 (令和3年度)	97件 (令和5年度)	103件 (令和6年度)	109件 (令和7年度)	115件 (令和8年度)
II スポーツ指導者研修会参加者数	40人 (令和3年度)	100人 (令和5年度)	100人 (令和6年度)	100人 (令和7年度)	100人 (令和8年度)
III 障がい者スポーツ全国大会等参加激励金支給件数	6件 (令和3年度)	6件 (令和5年度)	6件 (令和6年度)	7件 (令和7年度)	7件 (令和8年度)

①ジュニアを主体とした競技力向上施策の推進

○小・中・高校生にとって、競技力の向上への取り組みは、自主性・自立性や克己心、フェアプレーの精神、コミュニケーション能力の育成や思いやりの心を培うなど、人間形成に大きく寄与するものです。また、活躍する選手の姿は、市民に夢や感動、希望や勇気を与えるとともに、本市を国内外にアピールする格好の機会ともなります。
 ○新潟と世界をつないでくれる礎となる、次世代アスリートの発掘・育成やプロ選手の輩出を目指し、本市の競技力向上を担うスポーツ協会をはじめスポーツ関係団体等との医科学連携を図りながら、新潟から世界に羽ばたく選手の育成を目標に強化活動に取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
30 スポーツの国際大会等出場者激励金	スポーツの奨励と振興を図るため、日本スポーツ協会加盟団体が主催するスポーツの全国大会に出場する小中高生に激励金を支給します。	I	実施	実施	実施	実施	スポーツ振興課
31 氷上スポーツ選手強化事業	新潟市アイスアリーナを利用する、新潟市スポーツ協会加盟団体に対して、利用料免除に相当する一定の金額について補助します。	I	実施	実施	実施	実施	スポーツ振興課
32 氷上スポーツ教室事業	氷上スポーツの競技力向上を目的に、競技団体と連携し実技講習会や講習会を開催します。	I	氷上スポーツ教室事業 実施数 5回	氷上スポーツ教室事業 実施数 5回	氷上スポーツ教室事業 実施数 5回	氷上スポーツ教室事業 実施数 5回	スポーツ振興課
33 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 ジュニア強化事業	市内ジュニア選手の競技力向上を目的に、加盟競技団体と連携を図りながら将来有望な選手の育成に取り組みます。	I	実施数 27団体	実施数 27団体	実施数見直し	実施数見直し	(公財)新潟市スポーツ協会
34 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 にいがたスーパージュニア育成事業	オリンピックや国際大会等で活躍する輩出に向け、全国トップレベルで活躍している選手、コーチ等を「にいがたスペシャルコーチ」として委嘱し、より一層のジュニア強化を図ります。	I	育成事業数 4事業	育成事業数 4事業	実施数見直し	実施数見直し	(公財)新潟市スポーツ協会

②指導者の育成、資質向上の取り組み

○子どもたちにはスポーツに取り組むことで、技術の向上だけでなく、楽しさや喜び、心の豊かさや生きがいを感じてもらい、指導者は子どもたちの発育・発達・技能レベルや志向に立脚し、活動におけるマナーやエチケットに関する指導を行いながら子どもたちとの良好な関係を構築することが求められます。
 ○我が国におけるスポーツ指導体制は、日本スポーツ協会や加盟競技団体が公認スポーツ指導者として地域レベルからトップレベルまでさまざまな対象に応じた指導者を養成しています。本市における指導者の育成・資質向上の取り組みは、その補完的な役割を果たすとともに、スポーツ活動を通じ、豊かな心を育み、生涯に渡って身体を動かすことのできる楽しさや喜びを提供できる質の高い指導者の育成、支援を目指すこととします。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
35 スポーツと音楽功労者表彰事業	スポーツと音楽芸能の振興及び発展を目的に、功績が顕著な個人または団体を表彰します。	—	実施	実施	実施	実施	スポーツ振興課
36 新潟市「スポ柳樹にいがた」指導員養成研修会	子ども達がスポーツ・レクリエーション活動を通じ、豊かな心を育み、生涯に渡って身体を動かすことの楽しさや喜びを提供できる指導者・支援者としての資質の向上を図ります。	II	参加者数 100人	参加者数 110人	参加者数 120人	参加者数 120人	スポーツ振興課
37 (公財)新潟市スポーツ協会補助金 スポーツ指導者研修会	本市の競技力の向上を図るため、ジュニア強化に携わる指導者や関係者など市民を対象とした講習会を開催します。	II	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	講習会開催数 3回	(公財)新潟市スポーツ協会

③障がい者の競技スポーツ推進

○東京2020パラリンピック競技大会で本市ゆかりの選手が活躍するなど、障がい者スポーツに対する人々の関心が広がり、競技スポーツとしての強化と普及を図られることが期待されています。
 ○障がい者スポーツに関わる関係団体、医科学関係者、既存のスポーツ団体が連携し、競技スポーツの推進に取り組みます。

◆主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
38 障がい者スポーツ全国大会等参加激励金	障がい者の競技スポーツへの志向意欲を高めるとともに、積極的な社会参加を促進するため、障がい者スポーツの全国大会等に出場する選手に激励金を支給します。	III	実施	実施	実施	実施	スポーツ振興課
39 障がい者スポーツ大会関連事業	新潟県とともに新潟県障害者スポーツ大会を開催するほか、全国大会への選手派遣を行うなど、障がい者スポーツの競技力の向上を図ります。	III	【県大会開催】 参加者数 個人競技:7種目・250人 団体競技:5種目・160人 【全国大会派遣】 個人競技 18人派遣	【県大会開催】 参加者数 個人競技:7種目・250人 団体競技:5種目・160人 【全国大会派遣】 個人競技 18人派遣	【県大会開催】 参加者数 個人競技:7種目・250人 団体競技:5種目・160人 【全国大会派遣】 個人競技 18人派遣	【県大会開催】 参加者数 個人競技:7種目・250人 団体競技:5種目・160人 【全国大会派遣】 個人競技 18人派遣	スポーツ振興課

基本方針3 スポーツを活かしたまちづくり

(1)スポーツを通じた交流の推進

◆ 基本方針の内容

○新潟市の持つ魅力を活かした、国際・全国大会や合宿の誘致、イベントなどの開催により、スポーツを通じた交流を推進し、地域や経済の活性化につなげます。

◆ 施策指標

指標名	現状値	目標(令和5年度)	目標(令和6年度)	目標(令和7年度)	目標(令和8年度)
主要スポーツイベント参加者数(新潟市シティアマゾン、新潟シティアライド、新潟ヒルククライムのエントリー数)	1,700人 (令和3年度)	13,750人 (令和5年度)	13,750人 (令和6年度)	13,750人 (令和7年度)	13,750人 (令和8年度)

①文化・スポーツコミッションと一体となった大会・合宿等の誘致

○本市は、国内外および市内主要スポーツ施設との交通アクセスが容易であるほか、通年型のアイスアリーナを有し、宿泊施設が充実しているなど、スポーツ環境が整った都市として、大会・合宿等の受け入れ実績を積み重ねてきました。これまでに、フィギュアスケートロシア代表や空手フランス代表、女子硬式野球の日本代表など、国内外ナショナルチームの合宿等の誘致により、競技団体等から高評価をいただいています。

○合宿・大会の誘致やスポーツイベントは、多くの誘客を実現するとともに、より多くの人がスポーツを楽しむことで、様々な人や地域との交流を深めることができます。また、市民のスポーツへの関心を高め、地域の活性化、経済効果にもつながるものです。

○国や、日本オリンピック委員会、中央競技団体等の情報を収集し、県や「新潟市文化・スポーツコミッション」と連携をとりながらナショナルレベルの大会や合宿等の誘致を積極的に推進します。

◆ 主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
再掲 12 新潟シティアマゾンの開催 (再掲)	フルマラソン、ファンランに加え、年齢や障がいの有無に関わらず参加できる種目、ユニバーサルランを実施することで、市民の健康保持・増進を図ります。また、萬代橋や征谷小路などの市街地や新潟ならではの水辺を望めるコースとすることで、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。	I	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン :400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン :400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン :400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン :400人	スポーツ振興課
再掲 14 自転車活用事業 (再掲)	新潟シティアライド、新潟ヒルククライムを開催し、自転車を活用しながらスポーツの振興に寄与するとともに、市民の健康保持・増進、交流人口の拡大を図ります。	I	【シティアライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルククライム】 エントリー者数 600人	【シティアライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルククライム】 エントリー者数 600人	【シティアライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルククライム】 エントリー者数 600人	【シティアライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルククライム】 エントリー者数 600人	スポーツ振興課
40 国際・全国大会等誘致に向けた合宿受 入事業	トップレベルの技に市民が触れる機会を提供することでのスポーツの振興や、来訪者によるにいがたの魅力を発信することでの交流人口の拡大や地域活性化を図るため、国際・全国規模の大会やオリンピック・パラリンピック競技大会など様々な国際大会におけるナショナルチーム事前合宿を誘致します。	—	国際・全国規模の大会数 1 ナショナルチーム合宿数 2	国際・全国規模の大会数 1 ナショナルチーム合宿数 2	国際・全国規模の大会数 1 ナショナルチーム合宿数 2	国際・全国規模の大会数 1 ナショナルチーム合宿数 2	スポーツ振興課
41 国際ユースサッカーin新潟の開催	競技力向上と国際交流を目的に開催するU-17代表の国際大会です。平成9年度から開催されており、過去23回の開催を誇り、海外2チーム、日本代表、新潟選抜の4チームによる総当たり戦で競われます。	—	開催回数 1回	開催回数 1回	開催回数 1回	開催回数 1回	スポーツ振興課

基本方針3 スポーツを活かしたまちづくり

(2) スポーツの魅力を活かした愛着の醸成と賑わいづくり

◆ 基本方針の内容

○地元プロスポーツチームをはじめ、スポーツ団体などの連携により、観戦や社会貢献活動などを通じスポーツに親しみ新潟市への愛着を深めてもらうとともに、賑わいのあるまちづくりにつなげます。

◆ 施策指標

指標名	現状値	目標(令和5年度)	目標(令和6年度)	目標(令和7年度)	目標(令和8年度)
I 主要スポーツイベント観戦者数(ホームタウンチームのホーム戦の1試合あたり観戦者数)	11,800人 (令和3年度)	15,700人 (令和5年度)	17,500人 (令和6年度)	19,500人 (令和7年度)	21,600人 (令和8年度)
II 主要スポーツイベント参加者数(新潟市シティマラソン、新潟シティライド、新潟ヒルクライムのエントリー数)	1,700人 (令和3年度)	13,750人 (令和5年度)	13,750人 (令和6年度)	13,750人 (令和7年度)	13,750人 (令和8年度)

① 地元プロスポーツチームとの連携

○本市は、スポーツの振興と青少年の健全育成、市民の連帯感の醸成と地域の活性化を目的にアルビレックス新潟をはじめとした地元プロスポーツチームを支援しています。その存在は、市民に大きな夢や感動を与え、国内外に本市の魅力を大きく発信しています。

○また、地元プロスポーツチームのホームタウンとして、まちの景観にスポーツを取り入れるなど、スポーツの機運醸成や郷土への愛着を深めることへと繋がります。

○競技力の向上にも貢献し、世界に羽ばたくトップアスリートも誕生しています。プロスポーツチームなどトップアスリートの技術や経験を地域に還元することは、地域スポーツの活性化と裾野の拡大、次世代アスリートの発掘・育成などにもつながります。このような好循環の創出に向け、地元プロスポーツチームと地域との連携・協働を推進します。

◆ 主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標		計画・目標		担当
			令和5年度	令和6年度	令和5年度	令和6年度	
42 スポーツ観戦招待事業	小中学生とその保護者を対象に、地元プロスポーツチームの試合を観戦することにより、夢と感動を共有し、青少年の健全育成とスポーツ文化の醸成を図ります。	I	サッカー観戦招待者数 8,700人 野球観戦招待者数 122組 バスケットボール観戦招待者数 90組	サッカー観戦招待者数 8,700人 野球観戦招待者数 122組 バスケットボール観戦招待者数 90組	サッカー観戦招待者数 8,700人 野球観戦招待者数 122組 バスケットボール観戦招待者数 90組	サッカー観戦招待者数 8,700人 野球観戦招待者数 122組 バスケットボール観戦招待者数 90組	スポーツ振興課
再掲1 子どもスポーツふれあい促進事業(再掲)	小学生を対象にしたサッカー教室の開催、中学生とその指導者に対して地元プロ選手から指導等を実施してもらい、心身の健全育成と競技力・技術力等の向上を図ります。	I	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	サッカー教室参加者数 300人 サッカー指導者派遣数 94人	スポーツ振興課

② スポーツを活用した賑わいづくり

○地元プロスポーツチームの試合観戦や、新潟シティマラソンをはじめとするスポーツイベントの開催等により、街なかへの回遊性を高めるなど、交流人口の拡大及びまちの賑わい創出に取り組みます。

◆ 主な事業

事業名	事業概要	対応する施策指標	計画・目標				担当
			令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度	
再掲12 新潟シティマラソンの開催(再掲)	フルマラソン、ファンランに加え、年齢や障がいの有無に関わらず参加できる種目、ユニバーサルランを実施することで、市民の健康保持・増進を図ります。また、萬代橋や征谷小路などの市街地や新潟ならではの水辺を望めるコースとすることで、本市の魅力発信や交流人口の拡大を図ります。	II	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	エントリー者数 ・マラソン:9,000人 ・ファンラン:3,000人 ・ユニバーサルラン:400人	スポーツ振興課
再掲14 自転車活用事業(再掲)	新潟シティライド、新潟ヒルクライムを開催し、自転車を活用しながらスポーツの振興に寄与するとともに、市民の健康保持・増進、交流人口の拡大を図ります。	II	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	【シティライド】 エントリー者数 ロングライド:600人 ミドルライド:100人 ショートライド:50人 【ヒルクライム】 エントリー者数 600人	スポーツ振興課
43 プロ野球招致推進事業	官民が一体となった「プロ野球新潟招致委員会」により、プロ野球公式戦を招致することで、スポーツの振興や交流人口の拡大・地域活性化、本市を全国にアピールすることができます。プロ野球の観戦機会を提供するとともに、開催機運醸成のため、プロ野球監督や選手OBによるトークイベント等を開催します。	-	プロ野球公式戦開催数 1試合 トークイベント等の開催数 1回	プロ野球公式戦開催数 1試合 トークイベント等の開催数 1回	プロ野球公式戦開催数 1試合 トークイベント等の開催数 1回	プロ野球公式戦開催数 1試合 トークイベント等の開催数 1回	スポーツ振興課

(参考) 指定管理者自主事業

事業名	事業内容	指定管理者
1 各種スポーツ教室の開催・充実	体育施設での子ども水泳教室、親子水泳教室、親子体操教室、子ども体操教室、中高齢者向け健康教室、中高齢者向け水中健康教室など、子どもの体力向上プログラムから生活習慣病予防や高齢者の健康増進・運動のきっかけづくりを目的とした各種スポーツ教室を開催する。	新潟市開発公社
2 リレーフルマラソンin新潟市陸上競技場	ランニングを通じた健康増進と自己の記録への挑戦、地域の連帯感や活力の増進など、地域社会の活性化を目的として、仲間や親子と楽しく気軽に参加でき「スポーツの楽しさ」を味わうことができるイベントを開催する。 1周400mのトラックをたすきリレーし、チームとして42.195km(105周+195m)を完走する。	新潟市開発公社
3 国士舘大学男子新体操演技発表会	国内最高レベルの男子新体操演技発表会を通じて市民の皆様へ「みるスポーツ」を提供し、スポーツの素晴らしさ・楽しさを味わってもらうとともに、普段体育施設を利用されない方にも施設に足を運ぶ機会を設けることで、スポーツ振興へと繋げる。	新潟市開発公社
4 体力測定&メニュー作成	筋力・柔軟性・持久力等を測定し、その結果から個人に応じた運動プログラムを作成する。	新潟市開発公社
5 スポーツメディカルカウンセリング	体育施設において、スポーツによる怪我や痛み等の悩みに専門の医師、理学療法士が問診・指導を行う。	新潟市開発公社
6 着衣泳講習会	少しでも水難事故による犠牲者が減少するよう自分の身を守る「着衣泳」を広く市民に周知し、体験してもらう。	新潟市開発公社
7 フラダンス発表会	各施設開催のフラダンス教室参加者を対象に年に1度発表の場を提供し、日ごろの成果を披露してもらう。教室参加者のモチベーション向上につながり、運動の継続につながる。また、一般の方にも観覧してもらうことで「見る」ことから「動く」ことへの行動の変容も期待できる。	新潟市開発公社
8 いのちの教室&スポーツ教室	「スポーツと安全」をテーマに、国民安全の日になんだ安全普及イベントを行い、市民にスポーツを通じた安全管理意識を啓発する。 AEDなど救命活動普及のため「いのちの教室」を開催し、安全にスポーツを楽しむよう知識と技術を伝達する。 R4年度は、小学生を対象にした「バスケットボールクリニック」を開催した。	新潟市開発公社
9 赤ちゃん、親子向け教室	赤ちゃん一人一人に合わせた体操で心と身体の発達を促し、赤ちゃんと養育者のコミュニケーションを図る。 養育者をママと限定せず、パパや夫婦での参加を募る。 産後ママのリフレッシュ効果も期待できる。	新潟市開発公社
10 Time It(タイムイット)	大会形式でスタートからゴールのタイムを計測します。緊張感を味わいつつ自分、友人と競い合って楽しむイベント。 タイム計測という分かりやすい指標を用いることで、水泳の継続や教室参加者の習熟度の確認につながる。	新潟市開発公社
11 青空サップヨガ	屋外プールにてサップヨガを行う。水の上でゆらゆら揺れるボードの上で行うヨガは体幹意識が高まりインナーマッスルを鍛えることができる。フィジカル面だけではなく、屋外環境で行うため五感が刺激されメンタル面でのリフレッシュ効果も期待できる。	新潟市開発公社
12 総合型地域スポーツクラブ事業の質的な拡充	総合型地域スポーツクラブの①複数種目の中から(多様性)、②子供から高齢者までが(多世代)、③それぞれの志向、レベルに応じた(多志向)スポーツ活動に参加できるという特徴を生かし、誰もが気軽にスポーツに親しめるよう定期的・継続的に各種スポーツ教室を開催するとともに、地域の人々、組織や団体と協力・連携して、地域のスポーツを支える仕組みを充実させる。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体
13 グラウンド・ゴルフ大会の開催	スポーツ愛好者相互の交流親睦と競技力・チーム力向上を図ることを目的として、グラウンド・ゴルフ大会を開催する。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体
14 学校体育・部活動のサポート	運動が苦手な子供の「苦手意識」を払しょくし、「運動好き・体育好きな」子供を育てる一助になることを目的に、小学校の体育授業・体育的行事のスケジュールに沿って、走り方教室、マット運動教室、短期水泳教室等を開催する。また、部活引退後も継続して運動が行える環境をサポートするため、中高生が参加できる各種運動教室を用意する。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体
15 スポーツ教室の体験会や短期教室の開催	運動習慣のない方に対して、運動を始めるきっかけとなるような機会を創出する。既存教室への体験参加の案内、季節の変わり目などで体験会の開催、短期教室の開催等。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体
16 スポーツ出張講座の開催	保育・学校施設やPTA、地域団体から依頼を受け、スポーツ出張講座を開催します。気軽に楽しめる軽運動やレクリエーションを中心に子どもたちや地域の方に運動やスポーツの楽しさを伝える。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体
17 スポーツ用品のリユース活動	不要になったスポーツ用品やスポーツウェアの寄付を募り、集めたものを譲渡会などを通じて必要とされる方へお渡しする活動を実施します。また、使用済みテニスボールを回収して、学校施設などに寄付し、有効活用してもらう取り組みを実施します。	ハピスカとよさか&アイビス技建共同事業体

事業名	事業内容	指定管理者
18 氷上スポーツ教室	◇スケート教室 初心者～中級者を対象とした、レベル別・年齢別に計10クラス開設し実施。 その他年1回の発表会の開催や、有名スケーターを講師に招いてのスケート教室を開催。 ◇カーリング教室 初心者～中級者を対象に、カーリングのルール説明・基礎から学んでもらい、大会出場を目指す。	にいがたパティネレジャー
19 スポーツ(セミナー)事業	3か月を1期(一部プログラムは不定期)として年間を4期に分け、主に活動地域の人々に対して、スポーツや健康づくり運動の機会と指導を提供。子どもから高齢者までの各ライフステージに応じたスクールを開催。	横越総合体育館 運営グループ
20 スポーツ(地域活動)事業	地域の団体と連携し、スポーツやフィットネス関連のイベントおよびセミナーを横越総合体育館および江南区内各所で実施する。	横越総合体育館 運営グループ
21 スポーツ(トレーニングルーム指導)事業	効率良く継続的にトレーニングをしてもらうために、スタッフ(有資格者)によるマシンの取扱い・アドバイスを無料でおこなう(事前予約)。	横越総合体育館 運営グループ
22 高齢者のスポーツ推進 「あたま・からだ・いきいき体操」	いつまでも自分の脚で元気に歩くことを目的として、月1回高齢者向け体操の無料プログラムを実施する。 場所:新津武道館 対象:65歳以上(運動制限のない方) 参加費:無料	あきはKCK ライフパートナーズ
23 障がい者スポーツ推進 「ポッチャ体験会」	場所:新津武道館 対象:子供から大人まで(障がいあるなしに関わらずどなたでも参加可能) 参加費:無料	あきはKCK ライフパートナーズ
24 子供から大人までのスポーツ機会創出 「各種スポーツ教室実施」	子供のダンス・バレエ教室・児童体育教室・大人ヨガ、フラダンス教室・健康体操教室など、子供から高齢者まで広い年齢層に運動する機会を提供する。 場所:秋葉区総合体育館・児童体育教室は新津武道館 参加費:プログラムによって参加料が異なります。	あきはKCK ライフパートナーズ
25 各種スポーツ教室の開催・充実	体育施設での小学生スポーツレクリエーション教室、小学生水泳教室、水辺の安全教室、高齢者向け健康教室、大人向けのヨガ教室など、子どもの運動機会の増加から生活習慣病予防や高齢者の健康増進・運動のきっかけづくりを目的とした、各種スポーツ教室及び運動体験・健康チェック等を開催する。	株式会社 新潟ビルサービス
26 バスケットボール教室	(株)新潟プロバスケットボールと連携して、幼児から小学生を対象としたバスケットボール教室を展開する。 小須戸地区では過去にバスケットボールクラブがあったが、現在は無く児童生徒がスポーツに触れて楽しむ機会が減っている。 対象とする幼・小学生年代の運動能力向上とスポーツ活動の普及をねらいとする。 <会場:小須戸体育館>	秋葉区スポーツフィールド 運営グループ
27 カーリンコン教室	小須戸地区スポーツ振興会と連携し、ニュースポーツ「カーリンコン」の体験教室を開催する。 カーリンコンはポイントに向かってディスクをより近付けて得点を競う種目であり、年齢や障害の有無に関わらず楽しめるスポーツである。 小須戸地区でも大会等が行われている当協議の普及と競技人口の増加をねらいとする。 <会場:小須戸体育館>	秋葉区スポーツフィールド 運営グループ
28 少年野球大会(新人大会)	小学校5年生以下で編成する秋葉区内学童野球チームによる少年野球大会を開催することにより、スポーツを通じて子どもたちの心身の健全育成と、相互の親睦を図る。 <会場:新津金屋運動広場>	秋葉区スポーツフィールド 運営グループ
29 南区スポーツフィールドカップ	地元南区の子供たちにスポーツを通じて心身の健全育成を図り、相互の親睦と白根野球場に親しみを持ってもらえるように少年野球大会を開催している。毎年参加した子供たちは日ごろの練習の成果を発揮し、盛り上がりを見せていて、参加者からは継続して行なってほしいと要望が上がっている。	南区スポーツフィールド 運営グループ
30 少年野球教室	南区出身の元プロ野球選手による少年野球教室を行い、野球場の周知と、野球人口の増加、子供たちに野球の魅力を伝え、技術向上を図る。野球教室を定期的に行なってほしいなどの要望も上がっている。	南区スポーツフィールド 運営グループ
31 スポーツ(地域活動)事業	・地域の競技団体と連携しナイターリーグ・中学生野球教室を実施する。 ・区内の公民館、保育園、子育て支援団体を対象に親子運動遊び教室を区内各所で実施する。	みどりと森運動公園 体育施設運営グループ
32 各種スポーツ教室の開催・充実	体育施設での小学生運動教室、小学生水泳教室、水辺の安全教室、中高齢者向け健康教室、大人向けのヨガ教室など、子どもの運動機会の増加から生活習慣病予防や高齢者の健康増進・運動のきっかけづくりを目的とした、各種スポーツ教室及び運動体験・健康チェック等を開催する。	中之口・湯東地区 体育施設運営グループ
33 エンジョイフィットサル	フィットサルを通じてスポーツ文化を広めることによって、体育館やサッカー場の利用者増加を図る。様々な世代が参加することによって、地域コミュニティの拡大を図る。地域住民の交流の場、健康増進の場として地域に貢献する。年齢・性別を問わずコーディネーション、ボールフィーリング等当日の参加者にあった練習内容でフィットサルを楽しむ。	中之口・湯東地区 体育施設運営グループ
34 ウォーキングサッカー	ウォーキングサッカーを通じて年齢や性別を問わず、だれもが楽しく交流することができる場を提供する。	中之口・湯東地区 体育施設運営グループ
35 サッカー教室	年少から小学生までを対象とするサッカー教室を行う。サッカーを通じて、スポーツに親しむきっかけ作りを目的として開催する。	中之口・湯東地区 体育施設運営グループ

	事業名	事業内容	指定管理者
36	お花でにこにこプロジェクト	潟東サルビアサッカー場の花壇に、保育園の園児にサルビアを植えてもらい、サルビアサッカー場にてサッカー教室を行う。	中之口・潟東地区 体育施設運営グループ
37	サルビアフェスティバル	夏休み期間中を利用し、日頃交流できない児童・生徒との交流を目的とした、小中学生対象のサッカーフェスティバルを行う。	中之口・潟東地区 体育施設運営グループ
38	プリマヴェーラフェスティバル	小学5年生以下を対象にした、サッカーフェスティバルを行う。	中之口・潟東地区 体育施設運営グループ
39	角田山一周ハーフマラソン大会	角田山のふもとを一周するハーフマラソン大会の実行委員として企画・運営を行う。豊かな自然の中をランニングすることで、市民の体力向上や健康増進につなげる。また、地域住民からボランティアを募り、さらに西蒲区の特徴を随所に活かすことでスポーツを通じた地域活性化を図る。	西蒲スポーツ振興 グループ
40	岩室体育館教室事業	岩室体育館にて春・秋にヨガ、骨格コンディショニング等の教室事業を開催	西蒲スポーツ振興 グループ
41	西蒲区スポーツレクリエーション大会	西蒲区民を対象としたスポーツ・レクリエーション大会を西蒲区スポーツ協会加盟団体の皆様とともに開催。大会を通じて、体を動かす楽しさや、爽快感、達成感を味わっていただき、スポーツ活動参加へのきっかけになるよう働きかけをおこなう。	西蒲スポーツ振興 グループ
42	スポーツ(セミナー)事業	3か月を1期(一部プログラムは不定期)として年間を4期に分け、主に活動地域の人々に対して、スポーツや健康づくり運動の機会と指導を提供。子どもから高齢者までの各ライフステージに応じたスクールを開催。	西川総合体育館 運営グループ
43	スポーツ(地域活動)事業	地域の団体と連携し、スポーツやフィットネス関連のイベントおよびセミナーを西川総合体育館および西蒲区内各所で実施する。	西川総合体育館 運営グループ
44	スポーツ(トレーニングルーム指導)事業	効率良く継続的にトレーニングをしてもらうために、スタッフ(有資格者)によるマシンの取扱い・アドバイスを無料でおこなう(事前予約)。	西川総合体育館 運営グループ
45	各種スポーツ教室・イベント開催	高齢者向け健康体操教室、幼・小学生向けバスケットボール教室、園児向けのダンス体験。少年野球教室、日頃の施設のご利用のお客様へ感謝を込め感謝祭を実施。スポーツを通して子どもの体力向上、スポーツに興味をもってもらう。高齢者の健康増進・運動のきっかけづくりを目的とした、各種スポーツ教室及び運動体験・イベントを開催する。	西川スポーツフィールド 運営グループ